



東京都教育委員による学校

「東京都教育の日」関

杉並区立天沼中学校を鳥海巖委員が訪問



杉並区立天沼中学校は、以前より、日本の伝統・文化理解教育を重視し、学校と地域を結ぶ学校教育コーディネーターとの連携で、総合的な学習の時間に「文化」のコースを設定、茶道、華道、書道の専門家（師範）を招き本格的な体験を行っています。また、音楽の時間には、和楽器を取り入れ、三味線の専門家を招き、指導を受け2年生全員で演奏を行ったり、専門家の演奏を鑑賞したりしています。

今回は、今年度の東京都教育委員会「日本の伝統・文化理解教育推進校」に指定されたことに伴い、狂言鑑賞教室を総合的な学習の時間に開催しました。狂言を実演されたのは、杉並区内に稽古場を持つ「大蔵流狂言方山本会」の方々と、「柿山伏」「附子」を全校生徒が鑑賞しました。

大蔵流狂言方山本会のみなさんは、狂言を実演する前に、あらかじめ筋書きを解説し、それぞれの見所を見逃さないよう示唆するなど、中学生がより理解を深めやすいように工夫されていました。また、模範演技終了後、希望者を募り、狂言独特の「台詞回し」や「すり足」「笑い方」等の指導を受けましたが、舞台上がりきれないほどの希望者がありました。

天沼中学校では、単に鑑賞だけにとどめるのではなく、国語科との連携を図り、事前事後の学習と感想アンケートをとるなどしています。



小平市立小平第六小学校を木村孟委員長・米長邦雄委員が訪問



小平市立小平第六小学校は、地域教育連携推進事業のモデル地区の学校です。コーディネーター部会が中心となり、地域とのネットワークづくりを図っています。各教科・総合的な学習の時間等に学習支援ボランティアがかかわるとともに、ふれあいマンデー・図書・学芸・ふれあい安全パトロール・環境整備・クラブ活動・花と緑・小平よさこい・おやじの会等様々な分野でボランティアが学校を支援しています。（昨年度は、年間延べ5,000人以上の地域ボランティア・学生ボランティア等が何らかの形で学校にかかわりました。）

今回の訪問では、将棋・囲碁・コマ・お手玉・編み物等を子どもたちが、地域の方々と一緒に遊ぶ「ふれあいマンデー」（毎週月曜日の中休みの時間に実施）や地域と連携した小平よさこい踊りの練習、学習支援ボランティアが入った算数の少人数指導の授業を見学しました。

同時に、コーディネーター部会と市民学芸員が企画した「はらだたけひで展」を見学しました。パネルで仕切られた多目的室は美術館に変身、小さな無数のパーツを切り貼りして仕上げる繊細な作品や、はらださんが実際に使っている道具や画材を並べて、仕事場の雰囲気再現するなど展示にも工夫が凝らされていました。（はらださんは、小平市在住の絵本作家です。）

